

草津警察署協議会議事録

開催日時		令和7年2月26日（水）午後3時～午後4時30分
開催場所		草津警察署 5階大会議室
出席者	委員	佐藤亮委員（会長）、奥野美紀委員（副会長）、奥村厚子委員、竹内雅和委員、田中和子委員、石光堅太郎委員、宇野良彦委員、勝山圓昭委員、小林正彦委員
	警察	四谷署長、後藤副署長、大野地域官、辰巳刑事官、村上調査官（会計課長）、木林調査官（警務課長）、片岡調査官（交通第一課長）、安田生活安全課長、西川地域第二課長、永井刑事第一課長、木村刑事第二課長、田部交通第二課長、岩崎警備課長
議事概要		1 会長挨拶 会長から「任期中、歴代の署長をはじめ、幹部の方々と数々の課題に取り組みました。また、草津警察署が新庁舎に生まれ変わり、地域の輝かしい未来を迎えるように感じられた。引き続き、地域の安全づくりに向け、活発な協議会であることを祈念する。」旨の挨拶がなされた。 2 署長挨拶 署長から「管内の刑法犯認知件数、交通死亡事故者数、重傷事故数はいずれも、前年比で減少したが、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺が相変わらず高止まり状態である。また、自転車が当事者となる交通事故も依然として多く発生しており、地域住民の安全・安心のため、日夜奮闘しているところである。本日は、地域警察官の活動状況を議題としているので、委員の皆様から活発な御意見、御提言を賜りたい。」旨の挨拶がなされた。 3 報告 前回協議会において提言のあった ・栗東市川辺地先の旧東海道交差点における自転車事故防止に向けた取組として、警察から ・栗東市と連携した道路環境対策 ・可搬式オービスによる取締り及び交番勤務員による立ち寄り警戒 を実施した結果、前回協議会以降、人身事故、物損事故の発生はなかったことが報告された。その際、各委員から「提言したことが反映されたことに感謝する。」旨の発言があった。また、委員から「地理的に分からない場所

もあるので、図面や写真で説明してもらえるとありがたい。」旨の要望があり、警察から「今後は、分かりやすい資料を作成して報告させていただく。」旨説明した。

4 議事

地域住民の安全・安心の確保のための取組について

警察から、地域警察活動の説明がなされた後、交番襲撃を想定した訓練の見学のほか、装備品の着装、パトカー乗車体験を実施した。その際、委員から「マスクをしていると相手の表情が読み取れないが、不審者をどのように見極めるのか。」旨の質問があり、警察から「襲撃を意図する人物は、その雰囲気や言動がおかしいので、それをいかに感じ取るかが大切であるので、署員に対しては、いつ襲われるか分からないという緊張感を常に持って勤務するように指示している。」旨の説明がなされた。

また、委員から「耐刃防護衣や無線機などの装備品を全て身に着けると相当な重量になることが分かり、改めて警察官の大変さが身に沁みた。」旨の感想があった。

委員から「トクリュウは県内でも犯行に及んでいるのか。市民として何を注意すれば良いか。」旨の質問があり、警察から「いわゆるトクリュウグループは管内でも事務所から金庫を盗んだり銅線を盗んだりする事件を敢行しているが、これらはいずれも検挙している。もちろん、今後、強盗事件に発展する可能性もあり、身近な対策として、確実な施錠やダブルロック、防犯カメラの設置が有効である。」旨の説明がなされた。その際、委員から「防犯カメラは犯罪の抑止力になる。」旨の発言があり、警察から「防犯カメラは捜査にも有効であり、直接、草津、栗東両市長に防犯カメラの増設を働き掛けている。」旨の説明がなされた。

5 総括

副会長から「草津警察署の幹部の皆様は、署員の方をすごく大切にされていると感じた。協議会委員の任期は終わるが、私はお巡りさんが大好きなので、これからも応援させていただきます。」と総括された。